

議会だより そとがはま

第60号

令和2年5月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

6月8日(月)~10日(水)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



こいのぼいと園児たち (風のまちこども園)

目次

- 第117回3月定例会／2～9
- 一般質問：5議員が登壇／10～14
- 令和元年度採決結果一覧／15

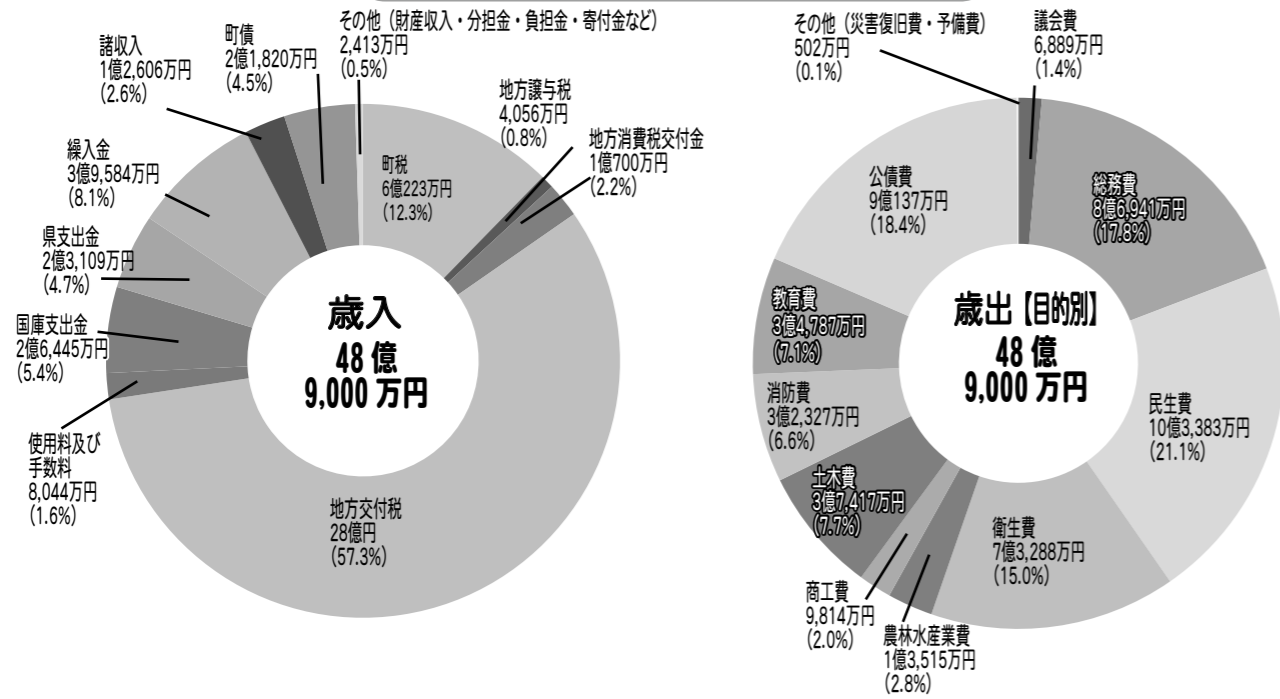
- 第118回臨時会／16～17
- 第119回臨時会／18

一般会計・特別会計・企業会計

総額91億6,691万円として可決

令和2年度予算

一般会計予算の内訳



容審況査計ては
を查をし、開3予
約中載しつさ9特
しかすたのれ・別
てらる。企、10委
お主とこ業一・員
伝なとこ会般11会
え質もで計会日(
し疑にはに計の
まを、つと3
り別初てつ間
あ委予慎のに
げ員算重特わ
、会のに別た
内の状審会つ

48億9千万円に
前年度より1億3千万円減少

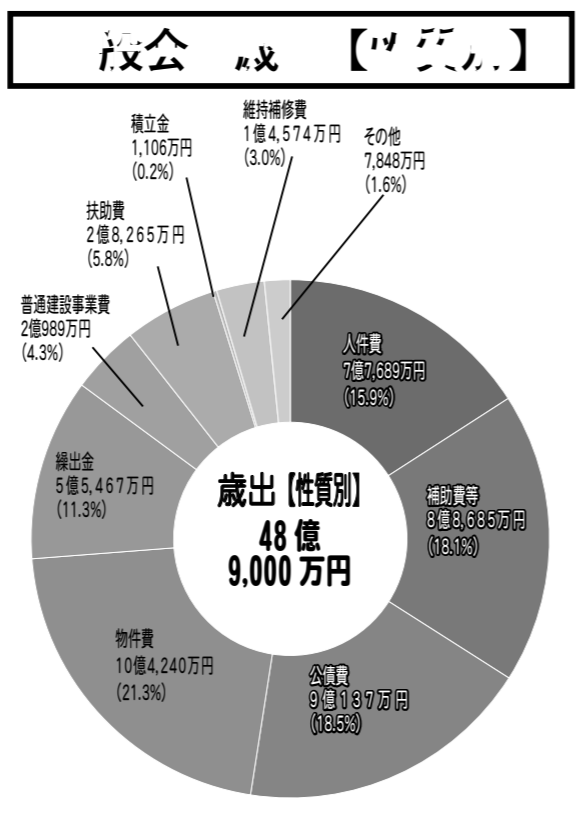
3 八人委員会

第117回定例会は、3月6日から12日までの7日間の日程で開催。令和2年度各当初予算案、令和元年度各補正予算案、町条例の制定案と一部改正案、議員発議などを審議しました。

令和2年度の一般会計、特別会計、企業会計の当初予算案については、予算特別委員会を設置し、集中審査の結果、全て原案のとおり可決しました。一般質問は、5人の議員が行いました。詳細は登壇順に10〜14ページに掲載しています。

一般会計の主な

防災行政無線更新事業	4,260万円
給食業務等委託料(平成29年度から給食費5割軽減)	3,809万円
ホタテ養殖残渣運搬処理委託料	2,574万円
小中学生研修事業(小学生→県外、中学生→海外)	1,276万円
学校洋式トイレ設置事業	1,200万円
各種予防接種事業(インフルエンザ・風疹等)	1,181万円
物産観光振興事業補助金(マツカワガレイブランド化事業等)	532万円
地域おこし協力隊管理業務委託料	400万円
大山ふるさと資料館改修事業	323万円
小中学校エアコン等設置事業	270万円
首都圏物産観光プロモーション事業	229万円
高校生通学費補助金(3割助成)	180万円
こども園副食費助成事業(保護者負担軽減)	44万円
ピロリ菌検査除菌事業(中学校2年生対象)	33万円



令和2年度一般・特別会計の予算額(歳出)

会計名	令和2年度	歳出の前年度比
一般会計	48億9,000万円	▲2.6%
国民健康保険特別会計	10億6,000万円	▲5.2%
介護保険特別会計	12億4,500万円	▲0.2%
大字費特別会計	190万円	111.1%
平館財産区特別会計	100万円	0.0%
根岸財産区特別会計	100万円	0.0%
野田財産区特別会計	100万円	0.0%
下水道特別会計	2億4,200万円	17.5%
後期高齢者医療特別会計	1億900万円	19.8%
合計	75億5,090万円	▲1.8%

令和2年度企業会計の予算額(歳出)

会計名	令和2年度	歳出の前年度比
病院事業会計	12億1,540万円	1.4%
簡易水道事業会計	4億61万円	8.6%
合計	16億1,601万円	3.1%



循環バス運賃

問 我が町では今、区間100円になっており、平館地区に入ると100円プラスされて200円になる。乗る方は車のない方、高齢者の方々、少ない年金で暮らしている方が多いので、蟹田から平館に行っても100円に改善してほしい。

答 前々から御指摘があったが、これについては本年9月までに循環バスの



蟹田と平館の地区境

ダイヤ改正等あるので、その協議の中で同一価格でできるのかを検討したい。

湯の沢温泉修繕

問 湯の沢温泉の修繕料、これは、どこ部分の修繕なのか。

答 湯の沢温泉の修繕料378万4000円は、源泉ポンプの入れ替えである。建設から10年以上経過している。砂が混じったりするという話もあり、ポンプが壊れれば温泉がストップになってしまうので、今回計上した。

肺炎球菌ワクチン

問 肺炎球菌ワクチンは、1回接種すれば5年間その効力が持続するということで、5年過ぎなければ2回目の接種はできないということになっている。5年過ぎてしまったという人たちも出てきているが、2回目についての助成はないのか。

いのか。接種料は7000円くらいと高いので、その点は変わらないのか。

答 当面は1回きりということ御理解いただきたい。

ピロリ菌検査

問 ピロリ菌の検査除菌委託料33万4000円は、中学校2年生何人分なのか。このことを一般の町民に広報していくべきだと思うのだが、そういった考えはあるのか。

答 中学校2年生対象というところで34名見込んでいた。検査の経費は1人当たり5780円、除菌の費用は陽性の割合を2割程度と見込んで、7人分見込んでいる。町民への広報は、検討していきたい。

精密検査助成金

問 精密検査の助成金というのは、どの部分の精密検査に対してどのぐらい

の割合で助成するのか。町のがん検診を受診して、精密検査が必要になった方に、1回当たり8000円を上限として助成している。



ホタテ残渣処理

問 ホタテ残渣運搬処理委託料とあるが、その中身をお知らせいただきたい。

答 予算編成時においては町の処理と岩手県の県北クリーンの処理施設のみしか考えておらず、この岩手県北クリーンに係る経費の合計である。処理料は、トン当たり3万3000円、数量が600トン想定している。また、運搬料が、

有害鳥獣駆除対策

問 現在把握している猿の外ヶ浜町管内の頭数、捕獲数、駆除頭数を伺いたい。

答 猿の頭数だが、3年ぐよそ300頭となっている。駆除件数は、平成30年度は約85頭、令和元年度は、4月から10月までの報告しか来ていないが、35頭の処理となっている。

有害鳥獣駆除委託料

問 有害鳥獣駆除委託料54万円、平成30年度と同じ額だが、多数の方から農作物が食べられてしまう、どうかしてくれという声を聞いている。そういう声に対して、行政として令和2年度以降、駆除駆逐用の追い払い用の花火を援助するなどできないものか。

答 駆除に対しての物など竹は免許制で、講習を受けた人でなければ追い払い用の爆竹は使用できないこと

になっているので、爆竹については一般の方には支給していない。

物産観光振興事業

問 物産観光振興事業補助金、令和元年度までこの補助金は港まつり実行委員会に出すものであったが、令和2年度からは物産観光振興事業補助金という名前になるわけなので、港まつりだけではないという理解でいいのか。

答 令和2年度は物産観光振興事業補助金という形で、その中で港まつり事業と、マツカワガレイのブランド化事業、首都圏物産観光プロモーション事業、県内物産観光プロモーション事業、海外販路拡大事業の、5つの事業を現在予定している。首都圏観光プロモーション事業については、浅草で実施する「まるごとことしぽん」の事業に充てることとしている。



新上蟹田団地

住宅修繕料

問 住宅管理費の中に修繕料267万9000円とあるが、どの住宅で、こういった修繕内容なのか

答 町が管理する町営住宅とあるが、新上蟹田団地であっても古いものは大分年数が経ってきており、例えば電磁調理器がここ数年作動しなくなった、ボイラーの調子が悪い、というようなことで、入居者からの通報によって修繕をするための予算となっている。

小中学校研修事業

問 この事業は、予算の関係からいつ10年間というところで聞いている。中学校の場合、予算計上しているのは1032万円。子どもたちを県外または海外で見聞を広げることだが、従来修学旅行が小中にある。聞いてみたところ、中学校の修学旅行は、大体1人当たり8万円から9万円の経費である。そうした研修旅行をグレードアップという形にして、もう1日、2日プラスして海外も行ける。そのふえた分は町の経費で賄うということにすれば、20年も30年も実施できるのではないか。

答 従来の修学旅行とあわせてグレードアップしたほうがいいのではないかとはいえない。そういう意見については、そういう意見もあると考えているが、今回はこの町として用意した研修事業ということで、やはり教育の機

トン当たり9900円で、これも600トンで2574万円である。現在は、五所川原市にある株式会社ツリーワークでも処理できるということ、産業廃棄物と一般廃棄物の許可を取っている。そちらのほうに処理委託できるように、五所川原市と自治体間の協議を進行中である。

問 五所川原市のツリーワークへ出せるように、五所川原市と我が町の協議の話が出たが、ということ、外ヶ浜漁業協同組合はツリーワークと契約するというところで理解していいのか。

答 あくまでも一般廃棄物という取り扱いになるので、町とツリーワークが協定契約をすることになる。ツリーワークと外ヶ浜漁業協同組合とは、内部で単価のほうを決めていただいて、町がツリーワークと協議する。

会として捉えて行ってほしいということが大きくある。海外に何度行ったことのある子もいるかもしれないが、海外にいきなり行ってみるということが、子どもたちの人間力を上げていくのに重要な経験になると認識をしている。

子どもの成長にあわせてということ、小学生には県外研修ということになるが、これも大変有意義なものと思っている。したがって、現時点ではあくまでこの研修という形で予算をつけさせていただいている。



昨年の修学旅行の様子(三厩中学校)

ただひたすら(女)

国民健康保険特別会計

保険者努力支援

問 特別交付金の中に保険者努力支援分というのがあるが、これはどういう性格のものなのか。

答 平成30年度国民健康保険の財政基盤が都道府県化になったことに伴い新設された制度で、都道府県と市町村それぞれ評価基準に基づいて算定された交付額が、国から都道府県、都道府県から市町村に交付される。

その保険者の努力によって交付分を県の指標に基づいて配分される金額と、例えていうと、ジェネリック医薬品の普及、糖尿病性腎症化予防、特定保健指導等の件数等を加算して、市町村に配分される。

令和2年度においては、前年同様216万7000円を交付額として予定している。

加入者について

問 一般の被保険者の加入の世帯数と、前年度と比べてどのように増減があるのか。

答 それから、現時点での資格証明書あるいは短期保険証の発行している数についても、お知らせいただいた。

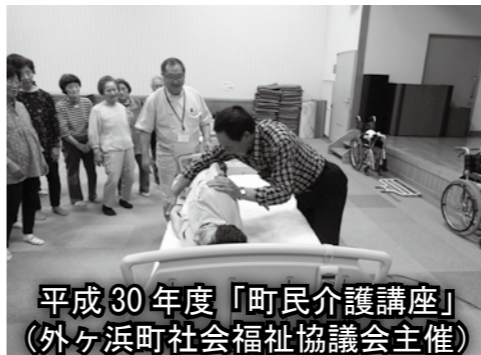
平成29年度では1190世帯、平成30年度では1137世帯、増減にすると53世帯の減となる。人数については、平成29年度は2001人、平成30年度は1896人で、105人の減となっている。

保険証の資格者と短期者の人数と世帯数は、短期者については21世帯40人、資格者については3世帯3人となっている。

介護保険特別会計

家族介護慰労金

問 当初は3人ほどしか対象にならなかった。今はある程度改善されて5、6人ぐらいにふえてきたが、まだ改善する必要があると思う。1回でもショートステイ、デイサービスを使えば、この慰労金が支給されない実態になっている。我が町の介護保険料は、40歳から皆健康な方々から出している。そういうお金を、365日面倒をみている家



平成30年度「町民介護講座」(外ヶ浜町社会福祉協議会主催)

族の方々に対して、もっと柔軟性をもって支給するようにはできないか。

答 介護慰労金については、現在、要件に該当する方には1件当たり3万円というところで支給しているが、この中にもいろいろと条件があり、今後緩和できるものがあるれば、考えていきたい。

後期高齢者医療特別会計

保険料の増額

問 後期高齢者医療の保険料が、当初予算では、昨年度から比べて大幅に増額をされているが、その理由についてお知らせいただきたい。

答 保険料の増ということである。現在広域連合では剰余金を割り当てていた。令和元年度の剰余金が繰越額が少ないことが判明し、令和2年度以降算定替えの時期となっている。均

健康審査委託料

問 後期高齢者健康審査委託料243万3000円の内容を知りたい。

答 後期高齢者の健康審査については、外ヶ浜中央病院で個別に行う分、それから健診センターで集団健診を行う分、そして青森市医師会で個別に行う分というところで、この243万3000円を予算化している。

一般会計に対する賛成討論

戒 修議員

極めて厳しいと言われる財政環境において、産業の柱である一次産業の振興財源を確保し、東京浅草への出店による産業振興対策の前進、懸案となっているホタテ養殖残渣処理については、グリーンハート及び町外の業者処理を委託する道筋をつけ、漁業者が安心して事業を行える体制を整えることができた。

そして特筆すべきは、子育て、教育にかかわる予算。こども園の副食費の助成や、中学生のピロリ菌の検査と除菌経費の助成、ふるさと納税を活用した学校現場の教育環境の充実や整備の費用、そして小中学校の内外の研修。10年しか続けられないという意見もあったが、10年間も続けるという決意をされたことは、大いに評価されるべきところである。

一般会計に対する反対討論

石岡 勉議員

厳しい財政の中でやりくりが随所に散見されて、町当局の努力は認めるところも多々あるが、教育予算の中にあった国内外の児童生徒の研修の項目においてふるさと納税の寄付金を利用して学校事業、もろもろに充当するところが見えているが、果たして国内、国外の研修を今やらなければならぬ時なのか。そういうことを考えると、現状でも充実させるべき学校教育の問題がまだ多岐にわたってあるにもかかわらず、多額の予算を用いてこの事業をやることに大きな疑問を感じている。

よりよい教育を長い期間かけてやっていく方向性での財源の活用をもっと模索するべきであり、保護者、生徒、学校現場の声をすくい上げることを強く求め、予算を将来的に活用できるような努力を望む。

令和2年度予算案に関する討論

◎起立採決結果

一般会計予算案

【賛成9・反対1】

国民健康保険特別会計予算案

【賛成8・反対2】

介護保険特別会計予算案

【賛成8・反対2】



等割り額で現在4万515円が4万4000円に上がる。そして所得割の減算だが、現在8.3%が7.41%に下がる。

令和元年度だと9割を軽減、8.5割軽減とやったが、これが令和2年度だと8.5割軽減が7.75割軽減に下がる。

それ以後は7割、5割、2割と下がるので、軽減の率が下がった分、保険料が上がるというのである。

国民健康保険特別会計に対する反対討論

原 芳雄議員

高すぎる国民健康保険税が、国保制度の構造的な危機となり医療保険制度としての持続性を揺るがしている。全国知事会などの地方団体は、被用者保険との格差を縮小するよう、抜本的な財政基盤の強化が必要と主張している。

国民健康保険の加入者は高齢者、年金生活者、低所得者、自営業者が多く、事業主負担がないのが国民健康保険税の制度である。そのため国庫負担の抜本的な増額は欠かせない状態であり、同時に地方自治体が住民の暮らしを守る立場から財政負担努力をすることが必要である。

そのために、町には子育て世帯の均等割の軽減開始の実施を強く求め、反対の討論とする。

介護保険特別会計に対する反対討論

安藤英博議員

介護保険料は、2年ごとの見直しにより引き上げられてきた。国民健康保険税のほかに40歳以上の方々が納めなければならない。

高齢者は年金から天引きされて負担も多くなり、ますます生活も苦しくなっている。そういう声が多くの高齢者から聞こえてくる。40歳以上の若い人や中高年の方々の滞納額もふえてきているのが実態である。

町は社会保障に対する深い認識と決意を持って、基金の活用などにより、高齢者の負担を軽減するなど、この制度の改善を強く国に求めることを訴えて、反対討論とする。

議案審議トピックス

一般会計補正予算

プレミアム商品券

問 当初の見込みから見ればかなりの減で、この金額は当初の見込み額の何パーセントくらいがプレミアム商品券の交換になったのか、それと、事業が上手くいかなかった原因は。

答 対象者が2078人に対して申請者数が739人、率にすると35.56%の申請率となっている。原因は、低所得者対象の事業にはなっているが、結局2万円出して買わなければならぬという部分で負担が大きいことと、地域の消費を喚起するというところで、ほぼ町内だけの使用に限られるということにある。

問 地域別に三厩、平館、蟹田、それぞれ何パーセントの方々がこの商品券をいただいたのか。

答 申請率だが、蟹田地区が45.2%、平館地区が30.18%、三厩地区が24.63%となっている。

大平山元遺跡関連

問 大山ふるさと資料館の玄関の横の壁の一部が古ぼけている。改善して、来る人たちにもいいイメージを見てもらうようにして

答 資料館の壁だが、令和2年度予算に大山ふるさと資料館修繕工事で323万円ほど計上している。玄関、屋根の補修、それとサッシの改修ということとで計上しているもので、そちらのほうでも対応できればと考えている。

病院事業会計補正予算

問 高齢者も多くなって、救急車が頻りに利用されている。三厩、今別、平館、蟹田、蓬田からも利用されていると思う。令和元年度は前年度からみて件数が多くなっているのか。

答 平成29年度は275件、1日当たり1.6人。平成30年度は246件、1日当たり1.4人。そして令和元年度は226人、1日当たり1.4人。これは2月末現在の数字となる。

問 リハビリ科が設置されて理学療法士も1名ふえている。

答 その中で、我が町のリハビリの効果がどのようにあらわれているのか。

答 前年までひとりで病院の理学療法を行っていた。それで業務過多になっていた。なので2人体制になって、スムーズになったと考えている。

3月補正予算の状況

●一般会計・特別会計

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億4,668万7千円	58億7,340万7千円
国民健康保険特別会計	▲3,308万8千円	10億9,064万6千円
介護保険特別会計	▲2,532万円	12億5,574万2千円
大字費特別会計	▲4万6千円	85万4千円
平館財産区特別会計	▲99万8千円	2千円
根岸財産区特別会計	▲99万8千円	2千円
野田財産区特別会計	▲99万8千円	2千円
下水道特別会計	▲127万円	2億1,257万6千円
後期高齢者医療特別会計	▲53万7千円	9,079万3千円

●企業会計

会計名	補正額	補正後の予算額
病院事業会計 (収益的収入支出)	▲220万3千円	11億1,175万7千円
病院事業会計 (資本的収入)	192万3千円	4,897万8千円
病院事業会計 (資本的支出)	▲44万3千円	9,356万7千円
簡易水道事業会計 (収益的収入支出)	▲47万9千円	2億4,376万7千円

たがひ(女)

問 この条例は令和2年5月1日から施行すると

(外ヶ浜町景観条例案について)

いうことになっていて、施行に当たっては、町の景観計画の効力が生ずる日の前までは青森県が定める景観計画を町の景観計画とするとなつていますが、町としての景観計画をいづる策定

◎3月定例会において審議された条例案は、次のとおりです。

- ① 外ヶ浜町景観条例案
- ② 外ヶ浜町監査委員条例等
- ③ 外ヶ浜町職員の服務の宣誓に関する条例
- ④ 外ヶ浜町職員等の旅費に関する条例
- ⑤ 外ヶ浜町印鑑の登録及び証明に関する条例
- ⑥ 外ヶ浜町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ⑦ 外ヶ浜町営住宅管理条例
- ⑧ 外ヶ浜町簡易水道事業給水条例
- ⑨ 外ヶ浜町教職員住宅管理条例
- ⑩ 外ヶ浜町病院事業の設置等に関する条例
- ⑪ 外ヶ浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- ⑫ 外ヶ浜町営住宅設置条例

※①は景観法に基づき、外ヶ浜町の良好な景観の形成を図るために、必要な事項を定めるため提案された条例案です。
※②～⑫は条例の一部改正案です。

答 景観法によると、景観整備機構は住民が自発的に環境保全に取り組むことを目的として設立されたNPO法人や広域法人などの団体が申請できる。個人や営利企業は対象としていない。

問 景観整備機構の指定は申請をしてその機構に

答 景観計画については、5月上旬を目処にパブリックコメント等をいただき、また審議会を開催し、そのほかに地区説明会を行った上で計画の公表を7月として予定している。

するの。それと、景観計画あるいは景観整備機構の指定等々あるが、指定するにしても、審議会の意見を伺ってそれを実施することもうたつているが、審議会はいづる組織するのか。

答 景観計画については、5月上旬を目処にパブリックコメント等をいただき、また審議会を開催し、そのほかに地区説明会を行った上で計画の公表を7月として予定している。

第2号

地元優先発注に伴う請願

【提出者】

外ヶ浜町商工会

会長 辻 善信

【紹介議員】

高坂 茂・三上 満

戒 修

【付託常任委員会】

産業建設常任委員会

【委員会の意見】

地元商店街の活性化が地域活性化に直結する事は明白であることから、本請願は「採択すべきもの」と決定した。

【本会議での採決】

採択 賛成多数

本請願を採択したことにより「商工事業の地元優先発注を求める意見書(案)」が議員発議され、採決の結果、可決されました。本意見書は、山崎町長に送付しました。

第4号

最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める請願

【提出者】

青森県労働組合総連合

議長 奥村 榮

【紹介議員】

安藤 英博・原 芳雄

福井 洋一

【本会議での採決】

採択 賛成多数

本請願を採択したことにより「最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書(案)」が議員発議され、採決の結果、可決されました。本意見書は、次の方々に送付しました。

●内閣総理大臣 安倍 晋三

●厚生労働大臣 加藤 勝信

●中央最低賃金審議会 会長 藤村 博之



石岡 勉議員

町長の任期、残り1年を迎えて

■答弁▼引き続き自らが先頭に立ち、町政の課題解決に向けて取り組んでまいりたい

◆質問①／就任から丸3年、この間町長として何を成したと御自身は思われますか。また、次の3点について動きが見えないが、どうするのか。

※龍浜地区の火災跡地の整備。

※国道339号三厩地区の土砂崩れ。

※蟹田塩越地区の町所有の旧水産加工場。

■町長／産業振興ではライスセンターの完成、マツカワガレイ・キンメバルの養殖及び三厩地区でのサーモン養殖。特産品の販路拡大のセールスでは、シンガポールのフェアはマスコミにも取り上げられ、町の宣伝に寄与できたと思う。

子育て支援として高校生の通学費の補助、授乳用インナーセットを贈呈。女性リーダーコースの開設計等、女性の目線を町政に持ち込むことができたと考えている。

龍浜地区の火災跡地については、令和2年度予算に用地測量の予算を計上。国道339号の件は、用地買収が進展すれば、令和2年度中には着工できると考えている。旧水産加工場については、令和元年度の今補正に解体費を計上した。

◆質問②／任期残り1年で何を重点に予算計上したか伺う。

■町長／子育て支援ではこども園の副食費の半額

助成、高校生までのインフルエンザ予防接種費の助成、中学2年生対象にピロリ菌の検査・除菌事業。教育振興として、小学生の国内及び海外研修。産業振興策として、東京浅草まるごとにつぼんへの出店、龍飛岬マツカワガレイのブランド化などを計上した。

また、外ヶ浜中央病院の新築の検討などである。

◆再・再々質問／小・中学生の国内外の研修は、小学5年生が福島県、中学2年生が台湾と決め、令和2年度から10年間、さらに今度中学3年生となる生徒もできれば対象に加えたいとあり、令和2年度の当初予算は10

00万円余となっている。10年間で当事業は6000万円以上である。町長は町財政の厳しさを口にしているが、果たして当事業が妥当なのか、もう一度検討すべきと思うが。

■教育長／普段、学校の中ではできない体験、研修を県外、外国で積んでいくことは子どもたちの将来に必ず生かされるとの思いから、計画させていたのだ。

風力発電の共同事業

◆質問／津軽半島エコエネが日本風力開発株式会社との共同事業から外れた理由は何か。

■町長／この共同事業は総事業費が200億円の

計画であり、さまざまな想定からリスクを勘案し、参画しないと決めた。

◆再質問／可能性のある事業には会社のやれる範囲で進めるのは基本だと思うが、この会社の社長としての考えを再度伺う。

■町長／土地所有者の今別町からエコエネとの共同出資でない、日本風力開発の単独事業を推進したい意向が示されたため、当事業から撤退することにした。また、将来を考えた利益を求めるのは当然だが、一般的な民間企業のように借金してでもどんだんやるのは、町の三セク会社としては、私は余り好ましくないと考えている。



福井洋一議員

農林水産業の振興政策について

■答弁▼ブランド化や高収入化を目指していく

◆質問／漁業について

当町の基幹産業の中心である漁業は、漁業主の高齢化が進行し、後継者不足となっている。漁業をやっている方、やろうと考えている方に、今後どのような漁業の振興を図っていくのか伺う。

■町長／漁師の法人化等の後押しをするなど、持続可能な漁業振興につなげていきたい。さらに、生産したものを高く売ることも大事な視点で、ASC（水産養殖管理協議会）などの認証取得も視野に入れ、ブランド化、高収入化を目指していく。

て、鮮魚等のブランド化や鮮魚・ホタテの六次産業化など高収益へ結びつける考えはないか。

■町長／役場職員が減っている中で、バランスを見ながら検討していく。

◆質問／農業について

蟹田地区の集落営農組織の法人化は、県内の先進地となっている。この蟹田地区の6法人が出資している株式会社アグライズ外ヶ浜の高収益化や、持続化をどう図っていくのか。また、他地区の農業や遊休農地・耕作放棄地の対策など課題はあるが、どのように進めているのか。

■町長／外ヶ浜町ライスセンターを最大限に活用

し、大規模経営化に取り組んでいる。農作業の軽減を図るため機械化の推進、既存農機具を活用した新農作物の提案などをしていく。また、蟹田地区以外の農業については、農地バンクを利用しつつ、農業法人の設立を目指し大規模経営に向け取り組んでいく。

介護認定を受けられないひとり暮らしの高齢者の支援について

◆質問／ひとり暮らし生活に不安を持ち、共同生活を望んでいる方が今後ふえていくものと考え、空き家を活用するなど共

同生活の場を設け、年間を通して支援していくべきと考えるが、見解を伺う。

■町長／運営組織や担い手、物件の確保、リフォーム費用の捻出など、その実現は難しい。

◆再質問／NPO法人の立ち上げや民間の力を活用し、旧平館小・中学校を利用すれば可能だと思

うが、再度答弁を求め

■町長／今ある施設で対応できればいいが、これからは、それに備えていくことも必要と考える。



新型コロナウイルス及びインフルエンザウィルスの対策について

◆質問／糖尿病などの疾病を持っている高齢者が高熱となり、直接外ヶ浜中央病院を受診した場合の対応と、インフルエンザに感染した方が受診した場合の対応を伺う。

■町長／受付窓口で発熱有無の自己申告と検温の後、高熱の場合は外来診察室ではなく、別の部屋で診察を行い、一般外来者との接触をなくすよう努める。インフルエンザに関しても、同様の処置を行っている。



記田慶市議員

東青5市町村でつくる青森圏域連携中枢

都市圏の協約締結について

■答弁▼人口減少社会において持続可能なまちづくりを目指す

◆質問／青森市を中心とするこの連携協定は、3年前に八戸市を含む8市町村に次いで県内で2番目となる。

地方が急激な人口減少の社会環境の中では、隣接町村がお互い手を結び、伸びるものは後押しをし、足りないところは補い合う、ワンチームで行かなければ町村が生き残れない現況下にある。5市町村の連携を強力に推進し、44事業に取り組みことは、大いに期待するものである。

報道されている内容から、青森市だけに任せただけでは意味がない。これまでの経過と我が町の目指すものは何か。

■町長／平成28年度中の策定を目指したが中断し、現青森市長の意向を受け、平成31年度に協議を再開した。令和2年3月末までにビジョンの策定が完了する。

青森市に任せっきりのものではなく、当町の意見が反映されるものと考えている。第一次産業の担い手育成や、地場産品のブランド化、販路拡大、子育て、教育支援、移住定住対策等、総合力を底上げし、人口減少社会において持続可能なまちづくりを目指す。

第三セクターの資産について

アオモリンク赤坂を拠点とした総合的な売り込みなどの実施計画がある。

納税で還元している観点から、町民全体の財産といっても過言ではないという答弁で、誤解を与えているような表現であったことは申し訳なく思っている。

産業振興が不可欠

◆質問／この協約締結の目的は人口減少を止めることであり、町の生き残りをかけた手段で、1つでも全国に流通する産業に育ててほしい。

■町長／ビジョンの44事業の中には、水産物の高付加価値化を目指したイベントや物産展の開催、

◆質問／12月議会一般質問の質疑の中で、町長は「第三セクターのお金は町のお金、町の皆さんのお金」とであると答弁している。町民に配布された議会広報の中にも同文で出ている。他人の財布が何で自分のものになるのか不思議でならない。勘違いと思うが、何を根拠に町のお金になるのか示してほしい。

◆再質問／議会広報を読んだ町民の中には、第三セクターのお金を使って町全体の街灯料に使用してほしいとか他にも誤解している人が多い。訂正はもちろん、迷惑をかけた謝罪をすべきと思うが。

■町長／第三セクターの収益の一部を、ふるさと



マツカワガレイ



原 芳雄議員

今別町も昨年4月から給食費を無料化した わが町でも5割補助から完全無料化を

■答弁▼来年4月までには段階的に負担軽減する

◆質問／年々、学校給食費の無料化を実施する自治体が増えていく。児童、生徒の少ない自治体ばかりでなく、多いところも実施してきている。五所川原市では今年の10月から、小中学校の給食費を無料化することを新年度予算に盛り込んだ。

であるといわれている。食育を目的とした教育であれば、憲法の規定に基づき無償とすることは当然である。町でも5割補助から一歩進めて、完全無料化を実施するよう求めたい。

■町長／完全無料化になるところまで目指していきたいと思っているが、すぐにできかねる状況にある。ただ、できるだけ早く、早ければ今年度中、遅くとも来年4月までには、段階的に負担を減らすようにしたい。

◆再質問／給食費の一食当たりは幾らで、年間では幾らか。当面、中学生だけでも無料化するとすれば幾らかかるか。

■学務課長／小学生は1食290円で、中学生は320円である。年間では小学生はおおよそ2万9000円で、中学生は3万円前後である。中学生全体で、700万円かかっている。そのうちの半分を保護者が負担し、半分を町が負担している。

紙おむつ使用者に助成を

◆質問／紙おむつを使用している高齢者は重い負担で大変である。常時、紙おむつを使用している要介護者に紙おむつ代の助成と、こうした方が入院した場合のおむつ代にも助成制度をつくっていただきたい。

■町長／家計の状況によつては、おむつ代の負担が大きいと思っている。財政的な負担も伴うので、すぐには難しいが、どのような支援方法があるのか検討したい。

◆要望／青森市では在宅で要介護4・5の方、常時失禁のある要介護3の方に、紙おむつを現物支給している。こうした例なども参考にしながら、ぜひ実施をしていただきたい。

介護認定者の状況について

◆質問／介護認定者の合計が612人と出ているが、その内訳と、施設に入居している方の内訳を

お知らせいただきたい。

■町長／要支援1が48名、要支援2が56名、要介護1が108名、要介護2が118名、要介護3が96名、要介護4が99名、要介護5が87名である。このうち、グループホームに54名、特別養護老人ホームに138名、老人保健施設に34名、青森市内の介護療養型医療施設が1名である。



グループホームみんまや

採決結果

令和元年度（4月～3月まで）に審議された起立採決時の採決結果を公表します。

◆ ○=賛成 ●=反対/議長（鈴木 進）は、賛否が同数の場合のみ議長採決。

各定例会	提出議案	議員名												
		福井洋一	浜谷恭市	戎修	石岡勉	高坂茂	三上満	柚谷和穂	原芳雄	安藤英博	記田慶市		鈴木進	
第113回臨時会（5月）	専決処分した事項の報告及び承認を求める件（外ヶ浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	—	承認
第114回定例会（6月）	外ヶ浜町介護保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	新たな過疎対策法の制定に関する意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
第115回定例会（9月）	地方財政の充実・強化を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
	平成30年度外ヶ浜町一般会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	平成30年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	平成30年度外ヶ浜町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	外ヶ浜町森林環境譲与税基金条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
第116回定例会（12月）	地方財政の充実・強化を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	日米地位協定の抜本改定を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
	青森市及び外ヶ浜町における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
第117回定例会（3月）	日米地位協定の抜本改定を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
	令和2年度外ヶ浜町一般会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和2年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和2年度外ヶ浜町介護保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	令和2年度外ヶ浜町後期高齢者医療特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
第117回定例会（3月）	地元優先発注に伴う請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
	最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	商工事業の地元優先発注を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決



外ヶ浜中央病院

◆質問/外ヶ浜中央病院は、35年経過し、建物の老朽化が進み、また、院内の一部にアスベストが使用されていることなどもあり、早期に改善を求める声が上がっている。入院病床を有する自治体病院として、上磯地区にここのかない医療拠点病院であり、欠くことが



安藤英博議員

一般質問

外ヶ浜中央病院の新築移転の計画は

■答弁▼令和5年度くらいには工事が始まるようなスケジュール感を持って進めたい

補聴器購入に町の助成支援を

できない病院である。蓬田村・今別町からも、病院、老人保健施設たんぽぽを利用して住民の方々も多く、津軽半島唯一の救急指定病院としての住民の生命を守るという点からも、必要であり、新築移転が強く求められている。町長はどのように受け止め、対応を考えているのか、答弁を求める。

■町長/地域医療の中核である上磯地区の上磯地区の唯一の入院病床を有する自治体病院であり、今別診療所と外ヶ浜中央病院間では医療業務支援協定を結んでいる。

◆再質問/新しい病院建設にあたって、計画から

積極的に今別町・蓬田村にも参加してもらって、広域病院として、運営できるように町長からも強くお願いして取り組む考えはないのか。

山崎町政が誕生し、町長の公約である3つの新しい風、「安心できる医療」とある。外ヶ浜町民、上磯住民のためにも、医療施設の建設は一日も早く望まれている。町長の決断と、早急の対応を求める。

■町長/近隣町村を交えた話し合いの中では、まず上磯の医療という観点からしっかりと踏まえて、重要視して考えていかなければならないというふうに思っている。

◆質問/高齢化に伴い、耳が聞こえにくくなってきた、また、仕事や社会生活に困るといった方々がふえてきている。補聴器は日常生活用具として欠かせないものだが、20万円から50万円と高額であり、高くて買えないと悲鳴が上がっている。町ではどれくらいの方が聴覚障害者手帳を持っているのか。手帳を持っているなくても、加齢性難聴の対象者にも、購入費に補助していただきたい。

■町長/外ヶ浜町ではどれくらいの方々の難聴者がいるのかということだが、身体障害者手帳を所持しているのは、町内全体で37名、そのうち65歳以上の方は33名手帳を所持している。

障害者手帳を所持している方には、補装具費の支給をしており、聴覚障害者は、補聴器が対象となっている。

■福祉課長/障害認定を積極的に受けていただくよう、広報等で周知に努めてまいります。



外ヶ浜町副町長選任について 賛成4・反対6で否決

4月7日、第118回臨時会が開催され、専決処分した事項の報告及び承認を求める件3件について審議し、3件とも承認しました。

また、人事案件として外ヶ浜町副町長の選任について審議し、採決の結果反対多数で否決しました。

たがひ(たがひ)

(外ヶ浜町副町長の選任の件について)

問 議長のほうから町長とともに人事についての行動があったわけだが、議会の代表であくまでも公平中立でなければならぬ議長が、まだ町長から正式に提案されていない中で、公平中立の立場を無視して行動することに、町長はどのように考えてきたのか。

答 3月議会の際に、議員控室で口頭でこういったことを考えているということをお伝えした。その中で大きかった意見が、まだ名前が

ていないと思う。まずは4月2日に懇談会をやるから来てくれというだけだったと思うので、そのルールは間違っただけという認識をしていない。

問 町長の公約である、町民の声を聞いて町長の仕事をしたいと、これは当選したときから町長はとにかく町民が主人公だと、町民の声を聞くというのは一貫してこの3年間貫いていると思う。

答 町民の声を聞く、副町長は地元の方から出てほしい。やはり2人も青森市からであればという疑問もある。その点について、町長は地元の方をあたってみたい、打診や検討はしてきたのか。即、県のほうからお願いするという形になってきたのか。地元の町民の声を聞くというのに対してはどうだったのか、伺う。

外ヶ浜町副町長の選任の件に関する討論

【反対】 福井洋一議員

3月定例会において、事前に議会に説明もなく唐突に町長から副町長の選任案件が提案され、その後取り下げとなった。そういう中、議長名による議員懇談会が4月2日に召集され、内容は副町長候補者との顔合わせだった。町長から再度提案されていない副町長候補者との顔合わせなど、あり得ない内容である。

【賛成】 戎 修議員
前の副町長が辞職してから約1年、山崎町長が頑張ってきたのは高く評価しているところである。しかしながら、我が町が抱えている問題は山積している。今回提案された方、青森県立中央病院 エネルギ―開発振興、環境生活部次長と、我が町にとってこれほどの経験、知識を有する方が、4月2日の議員懇談会で、決定していただければ、この町に居を構えてじっくりとこの町の問題を改めて考えながら対処していきたいといった決意も、お話ししていただいた。これほどの意欲がある方を、しかも青森県知事や副知事からの推薦もあった方を拒否するということは、あり得ないことだと思ふ。この案件をできれば全会一致で可決し、我が町の発展のために力を尽くしていただきたい。

【賛成】 三上 満議員

町民に選ばれた町長がスムーズな行政運営のために副町長が必要だと考えるとき、町長が仕事をしやすいような環境を整える。車の両輪たる町長と議会であるならば、これもまた議会の役割であると考えられる。その上で、議会の本来の使命である行政に対する牽制、批判、監視、提言も効力を増すものと考えられる。行政は1年1年が大切なものであり、この1年副町長が必要ならば、それは不可欠である。このことを町長は議員各位に時間をかけて説明し、労を尽くして賛同を求めた。その進め方は必要十分のものであったと考える。議員各位には我が町のためにこのことを幾重にも幾重にも考え、本案に賛同を願う。

【賛成】 浜谷恭市議員
この件に関しては、町民のことを第一に考えるべき。この方をわが町にお呼びするということ、まず残渣である。ずっと残渣の問題でこの町は揺れている。残渣処理の施設建設の話もあったが、さまざまな理由から頓挫し停滞している。それで困っているのは町民である。私たちがこうやって話をしている時に、町民はずっと待っている。ごたごたしている暇があれば、この方のような本場のスペシャリストに来ていただけて本気で解決するべきである。そのための議員であり理事者側との話し合いである。

町民のために何が必要か、本心に考えるべきだと思ふ。残渣を残したまま、施設がいつできるか先行きが不透明な状態で、残渣の運搬費用を町が一部負担しているのはおかしい。ホタテ残渣に関係のない町民は何と申すのか、町は早くせよ、それが町民の本心であると私は考える。

新型コロナウイルス対策 関連の補正予算を可決

専決処分した事項の報告及び承認を求める件2件
について審議し、2件とも承認しました。
また、令和2年度一般会計及び病院事業会計補正
予算案についても審議し、両案とも可決しました。

一般会計補正予算 6億864万6,000円
(特別定額給付金給付事業費5億9063万9,000円
子育て世帯臨時特別給付金給付事業費
520万7,000円など)
病院事業会計補正予算 954万3,000円
(簡易診療用エアテント購入費・設置箇所整地費)

新型コロナウイルス感染症
防止のため、議場内全
員がマスク着用、議員席
も間隔を開け、途中で換
気や休憩を取り入れるな
どの審議となり、これま
でに経験のない議会とな
りました。



お詫びと訂正

議会日より第59号に誤
りがありました。正しく
は次の通りです。

◎3ページ

「青森圏域連携中核都
市圏連携協約を可決」の
記事「起立採決」の内
訳が、

【誤】賛成6・反対4
【正】賛成7・反対3
となります。

◎7ページ4段目

戒 修議員の一般質問
の記事中、「支出につい
て」の町長答弁の一部が、

【誤】第三セクターの
お金は、町のお
金、町の皆さん
のものである

【正】第三セクターは
町の皆さんのも
のである
となります。

読者及び関係者の皆様
にご迷惑をおかけしたこ
とを深くお詫びし、訂正
させていただきます。

編集後記

新型コロナウイルスが世界中
の人々を苦しめている。恐いの
は、自覚の無い感染者が不特定
多数の感染源となっていること
だ。未だに特效薬、ワクチンの
無い状況では三密を避け感染し
ないこと、させないことを徹底
し継続していかねければならな
いと思う。

今、小中学生の皆さんにお願
いしておきたいことがある。皆
さんには、五十年後、歴史の証
人になるということを意識して
この難局を乗り越えて欲しいの
です。コロナ対策で何を指示さ
れ、何をされたのか、その時何
を思っ、周りの人たちの反応はど
うだったのか、世界中のリーダ
ーたちはどう行動したのか、そ
ういったことを、しっかりと記
憶しておいて欲しい。

議会広報特別委員会

- 委員長: 安藤 英博
- 副委員長: 福井 洋一
- 委員: 浜谷 恭市 / 戒 修
高坂 茂 / 原 芳雄
記田 慶市